

声明

ロシアのウクライナ侵攻に強く抗議する

－国際社会は軍事力によらない解決を！－

2022年2月28日

長崎県民主医療機関連合会

会長 平野 友久

ロシアのプーチン大統領は、ウクライナ東部にロシア軍の派兵を命じ、2月24日、侵入した派兵軍がウクライナの首都キエフや各地の軍事施設への攻撃を開始し、一般市民や民間施設にも甚大な被害が生じている。今回の軍事行動は「平和維持」を口実に派兵したものであるが、国連憲章の原則にも国際法の原則にも反する侵略行為そのものであり、軍事力行使による明らかな他国領土への侵攻に外ならない。国際秩序や国際平和を根本から揺るがす暴挙に対し断固抗議し、軍事侵攻の即時中止を求める。

また、プーチン大統領は「ロシアは最強の核保有国の一つ」と発言し、核兵器使用の威嚇で国際社会への牽制を行っている。この発言は、核兵器の開発や製造、備蓄とともに威嚇を禁じた核兵器禁止条約に反するものであり、万が一にも核兵器が使用されれば、地球と人類全体に壊滅的影響を与えることは明らかである。被爆地長崎の医療・介護に携わるものとして断じて容認できない。

今回のロシアの軍事侵攻を厳しく糾弾し、国際社会が軍事力で解決しないことを求める。併せて日本政府に対しては、平和憲法を持つ国として、また唯一の戦争被爆国として、この問題を軍事力で解決しないよう国際社会に発信し続けることを強く求めるものである。

以上